

第 1 回 蒲郡市 緑の基本計画策定委員会 会議録

開催日時	令和 6 年 3 月 26 日（火）午後 2 時から午後 3 時 40 分まで																																																								
開催場所	蒲郡市役所 本館 3 階 304 会議室																																																								
出席者	【委員】 <table><tr><td>豊橋技術科学大学</td><td>特別顧問・名誉教授</td><td>大貝 彰</td></tr><tr><td>東三河地域研究センター</td><td>常務理事・調査研究室長</td><td>高橋 大輔</td></tr><tr><td>蒲郡商工会議所</td><td>専務理事・事務局長</td><td>山下 英考</td></tr><tr><td>蒲郡市農業委員会</td><td>委員</td><td>荒島 祐子</td></tr><tr><td>蒲郡造園業協同組合</td><td>理事長</td><td>市川 幸樹</td></tr><tr><td>蒲郡市総代連合会</td><td>副会長・町部総代会長</td><td>細井 政雄</td></tr><tr><td>地域学校協働活動推進員</td><td></td><td>早川 康子</td></tr><tr><td>がまごおり市民まちづくりセンター</td><td></td><td>志村 昭彦</td></tr><tr><td>未来塾</td><td>会員</td><td>西川 和宏</td></tr><tr><td>蒲郡山友会</td><td>会員</td><td>牧原 鉄男</td></tr><tr><td>いきいきサロン王子</td><td>代表</td><td>高柳 幸枝</td></tr><tr><td>蒲郡地域の茶の間の会</td><td>会長</td><td>石川 たづ子</td></tr><tr><td>蒲郡市都市開発部</td><td>部長</td><td>嶋田 丈裕</td></tr></table> 【オブザーバー】 <table><tr><td>愛知県東三河建設事務所</td><td>都市施設整備課長</td><td>稲垣 佳之</td></tr></table> 【事務局】 <table><tr><td>都市開発部都市計画課</td><td>課長</td><td>鷹巣 央佳</td></tr><tr><td></td><td>係長</td><td>柳原 盛吾</td></tr><tr><td></td><td>主査</td><td>森 あゆみ</td></tr></table> 【委託業者】 <table><tr><td>株式会社パスコ</td><td>2 名</td><td></td></tr></table>			豊橋技術科学大学	特別顧問・名誉教授	大貝 彰	東三河地域研究センター	常務理事・調査研究室長	高橋 大輔	蒲郡商工会議所	専務理事・事務局長	山下 英考	蒲郡市農業委員会	委員	荒島 祐子	蒲郡造園業協同組合	理事長	市川 幸樹	蒲郡市総代連合会	副会長・町部総代会長	細井 政雄	地域学校協働活動推進員		早川 康子	がまごおり市民まちづくりセンター		志村 昭彦	未来塾	会員	西川 和宏	蒲郡山友会	会員	牧原 鉄男	いきいきサロン王子	代表	高柳 幸枝	蒲郡地域の茶の間の会	会長	石川 たづ子	蒲郡市都市開発部	部長	嶋田 丈裕	愛知県東三河建設事務所	都市施設整備課長	稲垣 佳之	都市開発部都市計画課	課長	鷹巣 央佳		係長	柳原 盛吾		主査	森 あゆみ	株式会社パスコ	2 名	
豊橋技術科学大学	特別顧問・名誉教授	大貝 彰																																																							
東三河地域研究センター	常務理事・調査研究室長	高橋 大輔																																																							
蒲郡商工会議所	専務理事・事務局長	山下 英考																																																							
蒲郡市農業委員会	委員	荒島 祐子																																																							
蒲郡造園業協同組合	理事長	市川 幸樹																																																							
蒲郡市総代連合会	副会長・町部総代会長	細井 政雄																																																							
地域学校協働活動推進員		早川 康子																																																							
がまごおり市民まちづくりセンター		志村 昭彦																																																							
未来塾	会員	西川 和宏																																																							
蒲郡山友会	会員	牧原 鉄男																																																							
いきいきサロン王子	代表	高柳 幸枝																																																							
蒲郡地域の茶の間の会	会長	石川 たづ子																																																							
蒲郡市都市開発部	部長	嶋田 丈裕																																																							
愛知県東三河建設事務所	都市施設整備課長	稲垣 佳之																																																							
都市開発部都市計画課	課長	鷹巣 央佳																																																							
	係長	柳原 盛吾																																																							
	主査	森 あゆみ																																																							
株式会社パスコ	2 名																																																								
議題	1. 蒲郡市緑の基本計画策定委員会会長の選出について 2. 緑の基本計画について 3. 蒲郡市の緑の現状について 4. 今後のスケジュールについて																																																								
会議資料	・ 次第 ・ 緑の基本計画の改定について（資料 1） ・ 蒲郡市の緑の現状について（資料 2） ・ 計画改定スケジュール（資料 3）																																																								

会議内容

1. 開会

- (1) 市長挨拶
- (2) 委員紹介
- (3) 資料確認
- (4) 情報公開について

委員への事前意識調査結果を踏まえ、活発な意見交換や円滑な討議を実現するため傍聴は実施せず、会議の要点記録をホームページで公開し、委員会運営の透明性・公平性を図ることとした。(委員からの異議なし)

2. 蒲郡市緑の基本計画策定委員会会長の選出について（議題 1）

蒲郡市緑の基本計画策定委員会設置要綱第 6 条に定められた委員会会長については、委員からの提案により事務局案として提示した大貝彰委員が互選により選出された。

3. 緑の基本計画について（議題 2）

(1) 議題説明

資料 1 に基づき、事務局より緑の基本計画について説明した。

(2) 意見交換（発言順）

A 委員

- ・ 前回の計画改定から 10 年以上経過したことによる内容の整合性がとれなくなってきた具体的な箇所はどこか。
- ・ 市街地の緑被面積、及び公園利用者割合の目標値については、改定後の計画においても目標設定を行うのか。

事務局

- ・ 環境保全・緑地保全を目指すという大きな枠組みは変化していないが、都市計画マスタープラン及び総合計画の改定、景観計画の策定等の上位関連計画の変化、並びに地球温暖化等の環境問題が細分化されているため、これらの変化に整合させた計画に改定する必要があると考えている。
- ・ 改定後の計画においても、現状を踏まえながら 10 年後の緑地及び公園の整備について検討し、新しい目標を設定することを考えている。

B 委員

- ・ 本市の人口が減少している状況において、現在整備されている公園の継続又は廃止の検討は行っているか。
- ・ 地域のボランティア団体等が公園の清掃を行っているが、本市の公園の中には維持管理が不十分な公園もある中で、公園維持管理の推進、及び新たな公園の整備等の検討は行っていくのか。

事務局

- ・新たな公園の整備については、法律に位置づけて公園を整備する都市計画公園において、未完成の公園が中部土地区画整理事業の事業区域内で 3 か所あるため、これらの公園は整備を進める。
- ・維持管理が不十分な公園がある点については、少子高齢化及び人口減少等で公園管理の地域協力を得られていない状況を認識しているため、公園維持管理のあり方、及び現在整備されている公園の改善等を検討したいと考えている。

C 委員

- ・地域ごとに都市公園があることは地域住民にとって望ましいと思っているが、公園ごとに利用形態及び住民の利用方法が異なると考えているため、これらをデータとして整理した上で今後こういった計画を考えていくのかをこの場で議論したい。
- ・公園施設里親制度（アダプトプログラム）について、団体数及び会員数は増加しているが、単純な増加だけでは良くないと考えているため、市民参加型プログラムの実施、参加しやすい環境の整備、及び市民の認知度を高める取組を市が行うことについてみんなで考えていくことが大切だと考えている。

事務局

- ・地域ごとの公園整備については、以前は法律等に基づいて一律に公園を整備していたが、現在は住民意見を参考に 1 つ 1 つ整備している。今後も住民意見を参考に公園を更新していきたいと考えているため、改定後の計画についても公園更新の指針となるようにしたいと考えている。

D 委員

- ・資料に記載された農業振興地域農用地区域とはどういうものか。現在、農業委員会では、10 年後の農地及び耕作者についての計画を作ろうとしている。

事務局

- ・農業振興地域農用地区域は、およそ 10 年以上にわたって農業上の利用を確保して農業振興を図り、優良農地として生産を確保する区域というもので、資料 2 に具体的な区域を示している。

C 委員

- ・計画策定にあたっての主な留意点の法改正への対応に 3 つの視点があるが、本市の緑地及び公園の現状において該当するものは存在するか。

事務局

- ・担当者レベルの考えとしては、今回の計画改定は都市部の緑の保全、及び活用する視点の改定と考えており、現時点で該当するものは存在していない。公園内に民間施設を導入し、公園の維持管理に民間施設の利益を回し

てくような Park-PFI を導入したいという思いはあるが、一方で Park-PFI は大都市向けの施策と感じており、本市での導入は難しいと考えている。また、緑地及び広場の創出については、民間との協議を図らなければならないと考えているが、現実的には難しいと考えている。ただし、行政側としてはこれらの考え方に賛同しているため、意見に応じて検討することを考えている。

4. 蒲郡市の緑の現状について（議題 3）

（1）議題説明

資料 2 に基づき、事務局より蒲郡市の緑の現状について説明した。

（2）意見交換（発言順）

B 委員

- ・道路緑化状況について、市役所前の県道を年 3 回「愛・道路パートナーシップ事業」として道路の清掃美化活動を行っているが、イチヨウは落ち葉が多く、環境悪化の原因と考えている。蒲郡市は市全体で見ると緑が多い印象があるため、街路樹のイチヨウを伐採して良いのではと考えている。
- ・市内の道路は歩道が狭いため、通行の視点から大木であるイチヨウは適切ではないと考えている。

事務局

- ・該当の道路区間は愛知県管理のため、市としては対応しづらい状況である。街路樹の削減については、市全体の緑は多いが市街地の緑は少ないという意見もあり、また、ヒートアイランド現象の緩和、及び都市景観の観点から街路樹の重要性は大きいと考えているため、道路管理部署と調整しながら街路樹の取り扱いについて検討したいと考えている。

A 委員

- ・地域住民の視点から水竹公園が良い公園だと感じており、このような公園の整備は市民として良いと考えている。一方で、浜町にある蒲郡緑地はあまり利用されていないように感じており、産業界の視点から企業用地への転換等で適切な土地活用ができないかと考えている。

事務局

- ・蒲郡緑地は愛知県の港湾計画で位置付けられている緑地のため、市としては対応しづらい状況である。産業界と調整しながら緑地の議論を進めていきたい。

E 委員

- ・真夏は公園を利用している人、特に子どもが少ないと感じており、原因は木陰がないためと考えている。市民が日常的に公園利用できるように木を植えてほしい。
- ・街路樹について、歩道に街路樹があるために歩道の形状が悪く、自転車が

歩道を走行する際の妨げになっている。車道、自転車道、及び歩道を分離した道路の整備をしてほしい。

- ・河川沿いに樹木が少ないと感じており、夏季に子どもが川遊びをできるようにしたいと考えているため、河川沿いに樹木を整備して木陰を作り、子どもの遊び場と大人の歩行空間を整備してほしい。

事務局

- ・落ち葉の清掃等の維持管理を十分にできていない状況から、大木化しない樹種を整備する方針であるため、木の整備を取りづらい状況であるが、いただいた意見も重要であるため、今後の公園整備に取り入れたい。
- ・歩道については、ウォークアブルシティの考えとして広い歩行環境と街路樹整備の考えがあるが、蒲郡市は道が狭いのが現状であるため、広い歩行環境と街路樹整備の両面を満たせないと思っている。また、昨今の道路整備は街路樹をなくしていくことがトレンドであるため、意見を取り入れながら今後の整備方針を検討したいと考えている。
- ・公園に隣接した河川に親水護岸を整備した箇所があるが（西田川公園）、護岸が汚い等の管理が追いついていない状況であると感じているため、地域の意見をもとに必要に応じて河川管理部署と連携して整備していきたいと考えている。

F 委員

- ・拾石川で維持管理活動等を行っているが、河川が愛知県管理であるため、過去に市へ河川沿いの桜の管理を依頼した際に、依頼を取り下げた経験がある。河川利活用には愛知県との協議がハードルとなるほか、河道の雑草除去活動等を行っているが、市の助成等もないのが現状である。これらの点への対応を考えているか。

事務局

- ・行政側としては法規制を優先せざるを得ないのが現状である。助成等については市民及び活動団体に情報提供していきたいと考えており、今ある制度を活用しながら活動を継続してもらいたいと思っている。

B 委員

- ・地域の集会（総代会）で防災の観点から小規模河川への対策についての話があり、防災対策工事と併せて子どもが川遊びをできるような護岸整備ができないかと感じた。

事務局

- ・河川整備の動向としては、過去は護岸壁に隙間を開けて草が生える整備をしていたが、近年は隙間のない護岸壁の整備が主流で、自然の観点では後退していると感じている。時代により左右されるところであるが、方針を持って管理者へ提案していきたい。

B 委員

- ・地域の集会で草刈りをしてほしいとの意見があるが、市が維持管理を行うと費用が発生するため、ボランティアを募集してはどうか。

E 委員

- ・個人ではボランティアグループを立ち上げるのは難しいため、市からボランティアの募集等をしてもらえないか。10～20 人程度のボランティアグループを作ればかなり大きな活動が出来るのではと考えている。

G 委員

- ・市の森はスギ及びヒノキ等の人工林が中心であるが、管理がされていないのが課題である。個人の地権者が多いため対応が難しいと思うが、森の保全活動として森づくりのボランティアグループを作り、間伐等の活動を行えないかと考えている。

事務局

- ・担当者レベルでは同意見であるが、現実的には難しいと感じている。さがらの森で木の伐採や管理等の取組を行う「もりもりクラブ」から市の支援がないという声があった。森への対応についても課題と考えているため、計画へ反映したい。

5. その他、全体を通しての意見交換

H 委員

- ・前回の計画策定時はヒートアイランド現象が計画策定の中心となっていたが、今回の中心はなにか。

事務局

- ・今回の委員会では蒲郡の現状について示した。前回の計画策定時の取組、及びその取組から出てきた課題については次回以降の委員会にて説明したいと考えており、意見をいただきたい。

B 委員

- ・蒲郡市には銘木が多くあるため、銘木巡りの企画はどうか。

事務局

- ・銘木の活用については色々な切り口があると思うので今後検討していきたい。

6. 今後のスケジュールについて（議題 4）

(1) 今後のスケジュールについての説明

資料 3 に基づき、事務局より今後のスケジュールについて説明を行った。

事務局

- ・なお、議論の進み方、及び意見の内容によって委員会の実施回数を増やすことも想定している。

7. 閉会

本委員会の意見を踏まえ、事務局は引き続き、計画策定の作業を進めることとした。

以上